

特別企画：四国地区 機械メーカー主要 20 社 業績動向調査（2019 年度）

2019 年度の業績 売上高合計は過去 5 年で最高 ～利益額合計は 3 年ぶりの減少～

はじめに

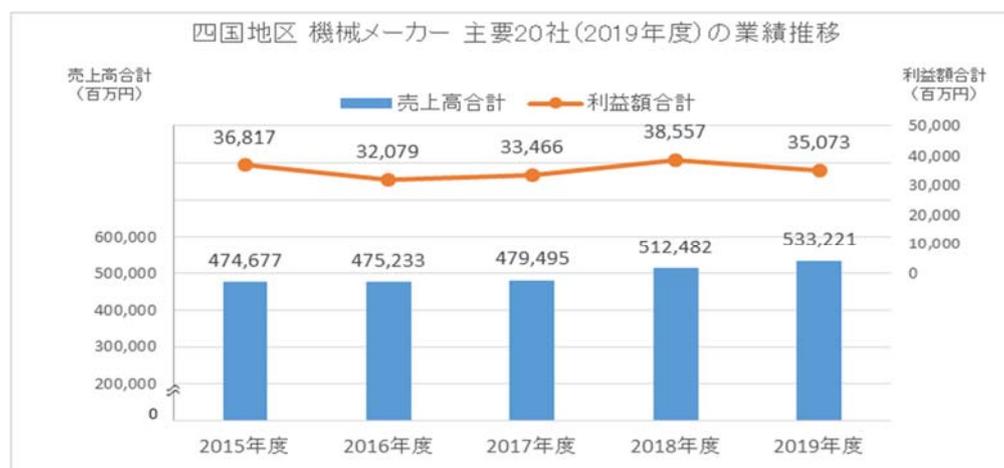
国内における人手不足に加え、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、工場の自動化や省人化へのニーズが高まっている。ただ、機械メーカーでは多品種少量の受注生産が多く、企業の設備投資に大きく依存するため、国内外の景気動向に左右されやすい。

今回、帝国データバンク高松支店は、機械メーカーの業績動向を探るため、2020 年 9 月末時点の企業概要ファイル「COSMOS2」（147 万社収録）の中から、2015 年度（2015 年 4 月期～2016 年 3 月期）から 2019 年度（2019 年 4 月期～2020 年 3 月期）まで 5 年間の決算の売上高と利益額が比較可能な、四国地区に本社が所在する機械メーカー主要 20 社を抽出し、売上高別、利益額（当期純利益）別、売上高ランキングについて分析した。

※分析対象は TDB 産業分類・中分類で「一般機械器具製造業」を主業とする企業で、電気機械・輸送用機械・精密機械・武器を主に製造している企業は除く

調査結果（要旨）

1. 2019 年度の売上高合計は 5,332 億 2,100 万円
前年度と比べて 207 億 3,900 万円（4.0%）多く、過去 5 年で最高に
2. 2019 年度の利益額合計は 350 億 7,300 万円
前年度と比べて 34 億 8,400 万円（9.0%）少なく、3 年ぶりの減少



1. 売上高合計推移、過去 5 年で最高

四国地区に本社が所在する機械メーカー主要 20 社について、2015 年度～2019 年度決算の売上高合計をみると、2019 年度は 5,332 億 2,100 万円となり、前年度と比べて 207 億 3,900 万円 (4.0%) 多かった。2 年連続で 5,000 億円を上回るとともに、過去 5 年で最高となった。

主要 20 社の増減収の内訳をみると、増収の社数は前年度から 2 社減の 13 社、減収は 7 社に増加した。2019 年度の売上高のトップは油圧式クレーンメーカーの (株) タダノ (香川県、153,765 百万円) で、次いでボイラメーカーの三浦工業 (株) (愛媛県、100,345 百万円) が続き、上位 2 社が 1000 億円を超えている。伸び率トップは、船舶用荷役機械メーカーの眞鍋造機 (株) (愛媛県、60.2%増) で、造船業者からの受注増が寄与した。次いで、ボイラの加工・組立を行っている (株) 三浦マニファクチャリング (愛媛県、43.7%増)、抄紙機やスリッター、巻取機など製紙機械の製造を行っている (株) 大昌鉄工所 (愛媛県、38.8%増) が続いた。

年度	売上高合計 (百万円)	前年度比 (%)	増減収の社数(前年度比)	
			増収	減収
2015年度	474,677	4.0	13	7
2016年度	475,233	0.1	14	6
2017年度	479,495	0.9	12	8
2018年度	512,482	6.9	15	5
2019年度	533,221	4.0	13	7

2. 利益額合計推移、3 年ぶりの減少

2015 年度～2019 年度決算の利益額合計 (当期純利益) をみると、2019 年度は 350 億 7,300 万円となり、前年度と比べて 34 億 8,400 万円 (9.0%) 少なく、3 年ぶりに減少した。

主要 20 社の増減益の内訳をみると、増益の社数は前年度より 7 社少ない 9 社となり、減益は 11 社に増加した。増収効果などで増益となった企業があった一方、鋼材価格の上昇や、労務費・開発費の増加、為替差損の計上などで減益となった企業が多かった。

年度	利益額合計 (百万円)	前年度比 (%)	増減益の社数(前年度比)	
			増益	減益
2015年度	36,817	13.6	12	8
2016年度	32,079	▲ 12.9	13	7
2017年度	33,466	4.3	9	11
2018年度	38,557	15.2	16	4
2019年度	35,073	▲ 9.0	9	11

3.まとめ

今回の調査で、四国地区に本社が所在する機械メーカー主要 20 社における 2019 年度の売上高合計は、過去 5 年で最高となったことが判明した。米中貿易摩擦などによる中国市場の減速で輸出関連産業の投資マインドが冷え込んだものの、国内においては労働力不足などへの対応から自動化・省人化に向けた設備投資が活発に行われたため、売上高の増加に繋がった。

ただ、2020 年度に入っては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、工場休止による生産縮小や移動制限による商談の見送りなどで、内需・外需ともに厳しさがみられている。帝国データバンク高松支店が 6 月 10 日に発表した「四国地区 2020 年度の設備投資に関する企業の意識調査」では、四国に本社が所在する企業で、2020 年度に設備投資を行う予定が『ある』と回答した企業が 54.9%となり、前回調査 (2019 年 4 月) から 13.0 ポイントの大幅減となった。「予定していない」と回答した企業も増加しており、コロナ禍における業績の悪化や景気の先行き不透明感から設備投資計画を見直す企業が増加している。また、世界経済の不確実性が増すなかで、サプライチェーンの再構築などが進む可能性もある。機械メーカーの多くが受注産業であり、企業の設備投資に大きく依存するため、国内外の景気動向を注意深くみていく必要がある。

<参考>

四国地区 機械メーカー 主要20社 2019年度売上高ランキング

(単位:百万円)

順位	商号	所在地	年売上高 (2019年度)	前年度比 増減
1	株式会社 タダノ	香川県	153,765	↑
2	三浦工業 株式会社	愛媛県	100,345	↑
3	四国化工機 株式会社	徳島県	47,434	↑
4	住友重機械搬送システム 株式会社	愛媛県	44,386	↓
5	株式会社 アドバンテック	愛媛県	32,892	↑
6	株式会社 井関松山製造所	愛媛県	30,394	↓
7	株式会社 技研製作所	高知県	25,197	↑
8	住友重機械プロセス機器 株式会社	愛媛県	13,956	↓
9	株式会社 ヒカリ	愛媛県	9,782	↑
10	株式会社 三浦マニファクチャリング	愛媛県	8,264	↑
11	株式会社 サムソン	香川県	8,184	↓
12	株式会社 大昌鉄工所	愛媛県	8,051	↑
13	川之江造機 株式会社	愛媛県	7,638	↓
14	株式会社 タダノアイレック	香川県	7,339	↑
15	潮冷熱 株式会社	愛媛県	6,785	↑
16	眞鍋造機 株式会社	愛媛県	6,727	↑
17	三村鉄工 株式会社	香川県	6,419	↑
18	株式会社 村上製作所	香川県	5,296	↓
19	三浦アクアテック 株式会社	愛媛県	5,246	↑
20	株式会社 エス・ケー・ケー	高知県	5,121	↓

【 内容に関する問い合わせ先 】

株式会社帝国データバンク 高松支店 担当：須賀原 欣彦、青木 真人
TEL：087-851-1571 FAX：087-851-3837

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。